



【第24号】

令和2年 1月20日

福島県小名浜港湾建設事務所

おなはまみなと通信

【発行元】

福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課

☎ 0246-53-7126

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/onahama-minato.html>

小名浜港東港地区の暫定供用を開始しました。



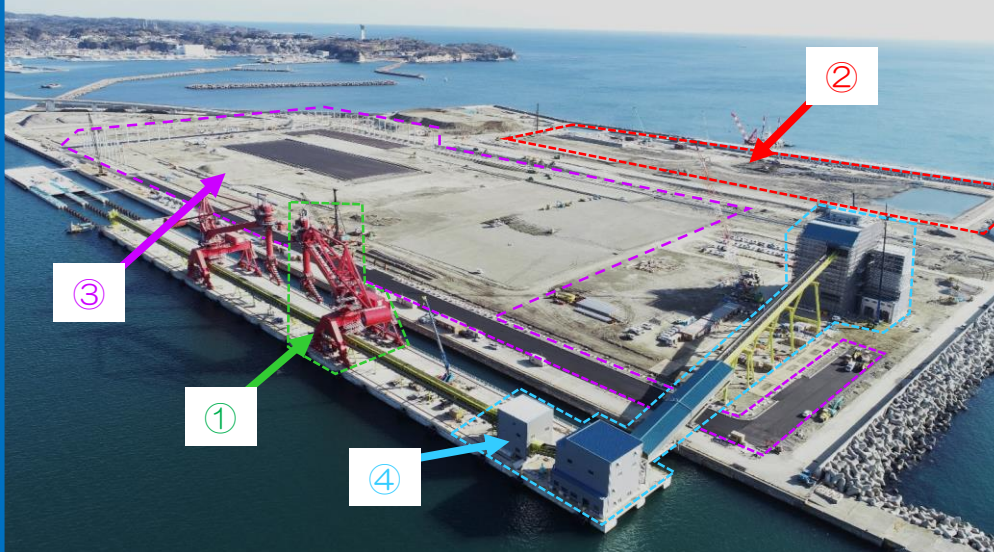
みなさんこんにちは。
小名浜港湾建設事務所のいつきです。
当所では、月に一回以上ドローンを使って事務所管内の空撮を行っています。
その中でも、令和元年12月20日に暫定供用が開始された小名浜港東港地区については、平成30年から毎月一回は必ず空撮による定点撮影を行っています。

今回のおなはまみなと通信では、東港地区について、過去の空撮写真と比較をしています！

平成30年12月10日



令和2年1月6日



昨年と比較してみましよう。

①船から石炭を荷揚げする際に使用するアンローダというクレーンが1基増設されました。

②埋立が大幅に進みました。

③船から荷揚げした石炭を貯蓄しておく野積み場や石炭を乗せたトラックが走るためのふ頭内道路の整備が進んでいます。

④船から降ろした石炭を運ぶためのベルトコンベア等の施設が建造されています。

それ以外にも工事が進んでいる箇所がたくさんあります。ぜひ探してみてください！



東港地区のほかにもたくさんの箇所を空撮しています。その一部を紹介していきます。

R1.10
久之浜地区竣工式



H31.4
飛鳥II 寄港時



R1.10
ケーソン作成状況

小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの整備、管理及び運営を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港をはじめとしたいわき市内の港湾・漁港の復旧・復興状況や話題などみなとに関する情報を発信します。

※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからご覧いただけます QRコードはこちらです



港湾関係施設災害復旧事業の査定が行われました

令和元年10月12日（土）から13日（日）の台風19号により被災した、県管理の港湾関係公共土木施設に係る、国の災害査定が実施されました。

○実施日：令和2年1月8日（水）～1月10日（金）

○対象港湾：相馬港、小名浜港

○結果：**4箇所**の被害を確認、決定額は**およそ1.2億円**

（うち小名浜港の被害は、**3箇所**、決定額は**およそ1.1億円**）

今後は、速やかに工事に着手し、早期復旧を図ります。



港内見学を実施しました。

令和元年11月26日は郡山市の西田学園の5年生計25名、令和元年11月29日は福島県立磐城高等学校1年7組の39名が小名浜港の港内見学に訪れました。

令和元年度は1月末までに、合計10校442名が港内見学に訪れました。



郡山市立西田学園5年生



磐城高等学校1年7組

当所では、職員がバスに同乗し、港の役割や各ふ頭での取り扱い貨物について説明しながら、小名浜マリブリッジ及び3号ふ頭から大剣ふ頭まで巡る港内見学を実施しています。随時受付を行っておりますので、詳しくは当事務所のHPもしくは企画調査課までご連絡下さい。

*港内見学は小・中学生、高校生を対象に実施しています。

編集後記

あけましておめでとうございます。小名浜港湾建設事務所のいつきです。年末年始は、実家で飼っている猫と炬燵で戯れてました。さて、令和2年一発目のおなはまみなと通信は小名浜港東港地区の暫定供用と昨年からの工事の進捗について紹介しました。今後の東港地区の工事の進捗についても随時、広報誌にて周知していきます。また、今年も奇数月に小名浜港通信を発行していきます。みなさん楽しみに！

いつき君

